

令和7年度 授業改善推進プラン

	育成を目指す資質・能力	全国学力・学習状況調査、 学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の 工夫
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができる資質・能力。</li> <li>日常生活における人との関わりの中で、自分の思いや考えを伝え合う力。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                     本校における全国学力・学習状況調査 平均正答率61%                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>新出漢字の定着、活用することに課題が見られる。</li> <li>自分の考えをまとめたり、理由や根拠を挙げて書いたり、説明したりすることが難しい。</li> <li>読書の習慣が定着していないため、語彙力が乏しく、文章を読むことが苦手な児童が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字練習、言葉の意味調べ、短い文章を書く練習を授業や家庭学習で行う。</li> <li>自分の考えを書いたり、説明したりする機会を單元ごとに設ける。定型文を提示したり、読む相手や書く目的を具体的に設定したりする。</li> <li>字数の制限や要約の条件を伝え、自分の考えを書くように指導する。</li> <li>書いた文章を友達と共有する時間をもち、感想を伝え合う時間を設ける。</li> <li>計画的、継続的に読書の時間を確保する。</li> </ul>

	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の 工夫
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域や地理的環境、現代社会の仕組みや働きなどの社会生活についての理解。</li> <li>社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>区的位置や地形、土地利用など身近にない場所や物についての知識、理解の定着に差がある。</li> <li>政治に関する用語、歴史上の人物などの習得すべき知識が定着していない。</li> <li>グラフや資料の読み取りはできるが、それをもとに多面的に考えたり、背景と関連づけたりすることが難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体験や見学などを積極的に取り入れ、学習の効果が上がるように実施の時期を適切に計画する。</li> <li>授業や単元の終わりに大切なポイントや用語を確認してまとめる。小テストやワークシートで知識の定着を図る。</li> <li>社会に見られる課題を把握させ、その解決に向けた社会へ関わり方について、グループ活動を活用しながら多角的な視点をもって考えられるようにする。また、自分の考えを表現する場や様々な考えを共有できる授業を展開する。</li> </ul>

	育成を目指す資質・能力	全国学力・学習状況調査、 学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の 工夫
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な四則計算を正確に行い、問題解決する力。</li> <li>文章問題の条件を正確</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                     本校における全国学力・学習状況調査 平均正答率52%                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>四則計算の知識・技能の習得に個人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝学習や授業の始めなどに基本的な計算の反復練習を行い、定着を図る。</li> <li>文章問題における条件や題意を明らかにし、正確に問題を読み取り、立式で</li> </ul>

<p>に読み取り、立式する力。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的に応じて図や式、言葉を用いて考えを表現する力。</li> </ul>	<p>差がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章問題の条件や題意の読み取りに苦手意識を持ったり、正確に読み取る力が不十分であったりする児童が多い。</li> <li>・問題解決において既習事項を活用して考え、図や式、言葉で表現することに課題がある。</li> </ul>	<p>きるようにする活動を繰り返し行わせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えを図や式、言葉で説明する活動、友達と考えを伝え合う活動を繰り返し行う。</li> <li>・ICT機器を活用し、友達の考えをよりよく理解し、自分の考えを深めることができるようにする。</li> </ul>
--	--	--

	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然の事物・現象についての理解。</li> <li>・観察・実験などに関する技能。</li> <li>・主体的に問題解決しようとする態度。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>本校における全国学力・学習状況調査 平均正答率50%</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実験における問題解決の流れの定着が不十分である。</li> <li>・予想や仮説を基に解決の方法を予想、表現して問題解決する力が不足している。</li> <li>・実験から得られた結果やデータを考察に結び付ける力が不足している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題→予想→計画→実験、観察→結果→考察→結論の流れを繰り返し学習させる。</li> <li>・各学年で身に付けさせたい問題解決の力を意識し、どの単元でも繰り返し学習させ、理科の見方、考え方を働かせる機会を増やす。</li> <li>・複線型学習を取り入れるなど、自己決定の場を増やしたり、友達と交流したりしながら主体的に学習に取り組む習慣を身に付ける。</li> </ul>

	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活上必要な習慣や技能を身に付ける力。</li> <li>・身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現する力。</li> <li>・身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとする態度。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習内容を自分自身や、自分自身の生活と結び付けて考える機会が少なかった。</li> <li>・良い気付きがあるにも関わらず、うまく表現できていない。</li> <li>・友達と一緒に活動することができたが、人任せにしてしまう児童もいた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な活動や体験をしたり、友達や地域の人々との関わりに重点をおいた活動を取り入れたりする。</li> <li>・生活科での気付きを児童の発言、記録カード、作品、写真などを用いて表現する。また、自分の行動や自分の生活と結び付けて振り返りを行い、気付きや思いを表現し合う活動や場を設定する。</li> <li>・一人ではできないことは、ペア学習やグループ学習を意識的に取り入れ、教科横断的な学習の充実を図る工夫をする。</li> </ul>

音楽	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽表現を楽しむために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能。</li> <li>曲や演奏の楽しさを見出しながら音楽を味わって聴く力。</li> <li>音楽を愛好する心情と感性、親しむ態度。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>楽譜や音楽記号などへの親しみがあまりない。</li> <li>周りの音をよく聴き、協働的に演奏することが難しい。</li> <li>楽曲に対して、自分なりの思いや意図をもち、主体的に表現することが難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一台タブレットを活用し、自分のペースで学習ができるよう整える。</li> <li>演奏表現の工夫を自分で考えたり共有したりする活動を取り入れる。</li> <li>音楽記号の学習や階名唱は常時活動として継続的に行い、知識の定着を図る。</li> </ul>

図工	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> <li>造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、創造的に発想や構想をしたり、作品に対して自分の見方や感じ方を深めたりすることができる能力。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>表現に偏りがあったり、表したいことがあっても表現できずにタブレットを使用し、まねてしまう傾向が強い。それでも思うように表せないと諦めて最後まで意欲的な作品作りにつながりにくい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>鑑賞する時間を通して、作品の表現の良さや面白さを感じとり、作る喜びを高める。</li> <li>作品の大きさを比較的小さくし、やり直しがしやすかったり、完成する実感を持たせたりする。</li> <li>ゴールの形を導入のみならず、定期的に示し、作品への意欲を継続させるようにする。</li> </ul>

家庭	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活に必要な基礎的な知識理解・技能。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活の中でよりよい生活を目指して自分にできる工夫を考えることが難しい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題が多い児童には個別対応を行い、知識・技能の習得に向け支援を行う。</li> <li>自ら実践できる見通しをもてるよう、日常生活に応用できる課題の設定を行う。</li> </ul>

体育	育成を目指す資質・能力	新体力テスト、学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動や健康についての自己の課題を見付け、その解決に向けて思考し、判断するとともに、他者に伝えることができる能力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボール投げ、50m走、握力が全国平均よりも上回っている学年が多い。</li> <li>自分の課題を理解している児童が少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICT教材を活用し、動画や静止画から自分の動きを知り、課題や成長を気付かせる。</li> <li>スモールステップで場を設定し、達成感を味合わせ、意欲や技能面を高めていく。</li> </ul>

			<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動能力向上のために、積極的に外部講師の依頼を行い、専門性の高い運動に取り組ませる。</li> </ul>
--	--	--	---

	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
国際	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えや気持ちなどを伝える技能。</li> <li>・内容や伝え方について、相手意識を働かせながらやり取りしようとする姿勢。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自信がないため、英語で相手に伝えようとする気持ちが弱く、コミュニケーションを取ることが難しい。</li> <li>・やり取りの際に、日本語を使用してしまうことが多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単調なパターンプラクティスにとどまることがないよう、既習内容を活用して表現を膨らませることや、相手の反応を確かめながら伝えるようにするなど、コミュニケーションの際に大切なポイントにも意識を向けさせる。</li> </ul>

	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
道徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の経験や価値観をもとに考え、道徳的課題を自分ごととしてとらえる力。</li> <li>・友達の考え方や感じ方を理解し、意見を比べる力。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材は抽象的な表現が多く、自分の体験と結びつけにくい。そのため、「自分だったら」と想像することが難しい。</li> <li>・自分の感情や考えを言語化する力の未発達。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発問や身近な題材を工夫し、児童自身の生活場面とつなげて考えさせる。</li> <li>・意見交流、共有した後で、「自分とどう違うか」「どこが共感できるか」という視点でもう一度自分の考えと向き合う時間をつくる。</li> </ul>

	育成を目指す資質・能力	学級活動、学校行事等の課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級の課題を見出し、解決に向けた話し合い活動をする力。</li> <li>・自分の役割に責任をもって主体的に仕事や活動に取り組む力。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役割意識や責任感をもって活動することができない児童がいる。</li> <li>・係によって、主体的に活動を進めていくことができる児童とできない児童がいる。</li> <li>・話し合い活動をすることに消極的な児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えをもち、話し合いに参加できるよう身近な話題を議題にし、話し合い活動の経験を増やしていく。</li> <li>・話し合いの方法を型で示し、見通しをもって適切に話し合いができるよう指導する。</li> <li>・自信をもって取り組めるよう、できたことを称賛する。</li> <li>・スモールステップで明確な到達目標を示す。</li> </ul>

総合的な学習の時間	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT機器を効果的かつ有効的に活用し、学習に取り組む力。</li> <li>・児童が見通しをもって学習に取り組む力。</li> <li>・地域の特性を生かし、身近な環境に興味、関心をもち課題を設定する力。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT機器の活用やアプリケーションの使い方の習熟度の差が大きい。</li> <li>・見通しをもって自分の力で学習に取り組む態度が育っていない。</li> <li>・調べたことから新たな課題を考える力を身に付ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年の実態に沿った目標を立て、ICT機器を有効的に使えるよう学習に取り組む。</li> <li>・「課題設定→調べ学習→まとめ→新たな課題設定」のサイクルを定着させ、自分事として学習に取り組めるようにする。</li> <li>・児童の興味を引くような課題を設定したり、ゲストティーチャーに招いたりする。</li> </ul>